

行政自治会だより

創刊号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 松本守雄



発刊にあたり

古河市行政自治会
会長 松本守雄

古河市行政自治会の皆様には、日頃より行政自治会の事業等に参加活動され、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、平成17年9月に古河・総和・三和の1市2町が合併し新生古河市が誕生しました。平成20年には自治組織である、古河の自治会連合会、総和・三和の区長会が合併、しかし平成22年度までは旧地区単位の活動が主でありました。3年を経過した本年23年度からは、全市の自治組織「古河市行政自治会」として、一本化で活動することになり、その事業の一つとして、広報紙を発刊することになりました。

まず各地区より広報委員計10名を選出し、さる5月27日に平成23年度第1回広報委員会を開催、名称を「行政自治会だより」として発刊することとなり、ここに創刊号の発刊に至った次第です。

今回の創刊号では、各自治会・行政区・地区等の活動の紹介は紙面の関係で掲載が限られておりますが、これからは行政自治会事業の紹介もさることながら、コミュニティ活動、お祭り、地域の特性を生かした行事、各自治会・行政区の歩み等々本広報紙においてお知らせしたいと思っております。そして市民の皆様が、広報紙「行政自治会だより」を読んでいただき、それぞれの活動をよく知り理解していただき、更に行政自治会・各自治会・行政区等の事業・活動等にも参加し協力していただければと願っております。またそのようなことが古河市の明るく住みよいまちづくりのひとつとなれば幸甚と思っております。



発刊によせて

古河市長
白戸仲久

市民の皆様には、日頃から市政全般にわたり、ご支援ご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

この度、古河市行政自治会の広報紙として「行政自治会だより」が創刊されましたことに、心からお祝いを申し上げます。

さて、先の大震災は、東日本地域に地震や津波による甚大な被害をもたらしました。加えて、未だに収束しない原発事故や事故に伴う風評被害や夏の電力不足など、幾多の懸念を抱えている現状であります。そうした中であっても、日本は復興に向けて、皆で力を合わせて前に進んでおります。大震災をきっかけとして、地域の絆の大切さや、人は一人では生きていけないことを、改めて実感させられたのではないのでしょうか。

自治組織は、地域コミュニティの核となる大変重要な地域の活動団体です。自治組織の活発な活動は、潤いのある地域生活を育むだけでなく、安全・安心なまちづくりにおいても重要な役割を果たします。

私は、合併以来今日に至るまで、新市として市民の皆様方が一体感を持てるまちづくりに取り組んでまいりました。今後も、地域における市民の活動の場や自治組織への補助制度等を充実すると共に、地域リーダーの育成やグループ相互のネットワーク化を推進していくなど、自主的な地域活動の活性化、地域コミュニティの育成に努めてまいりたいと考えております。

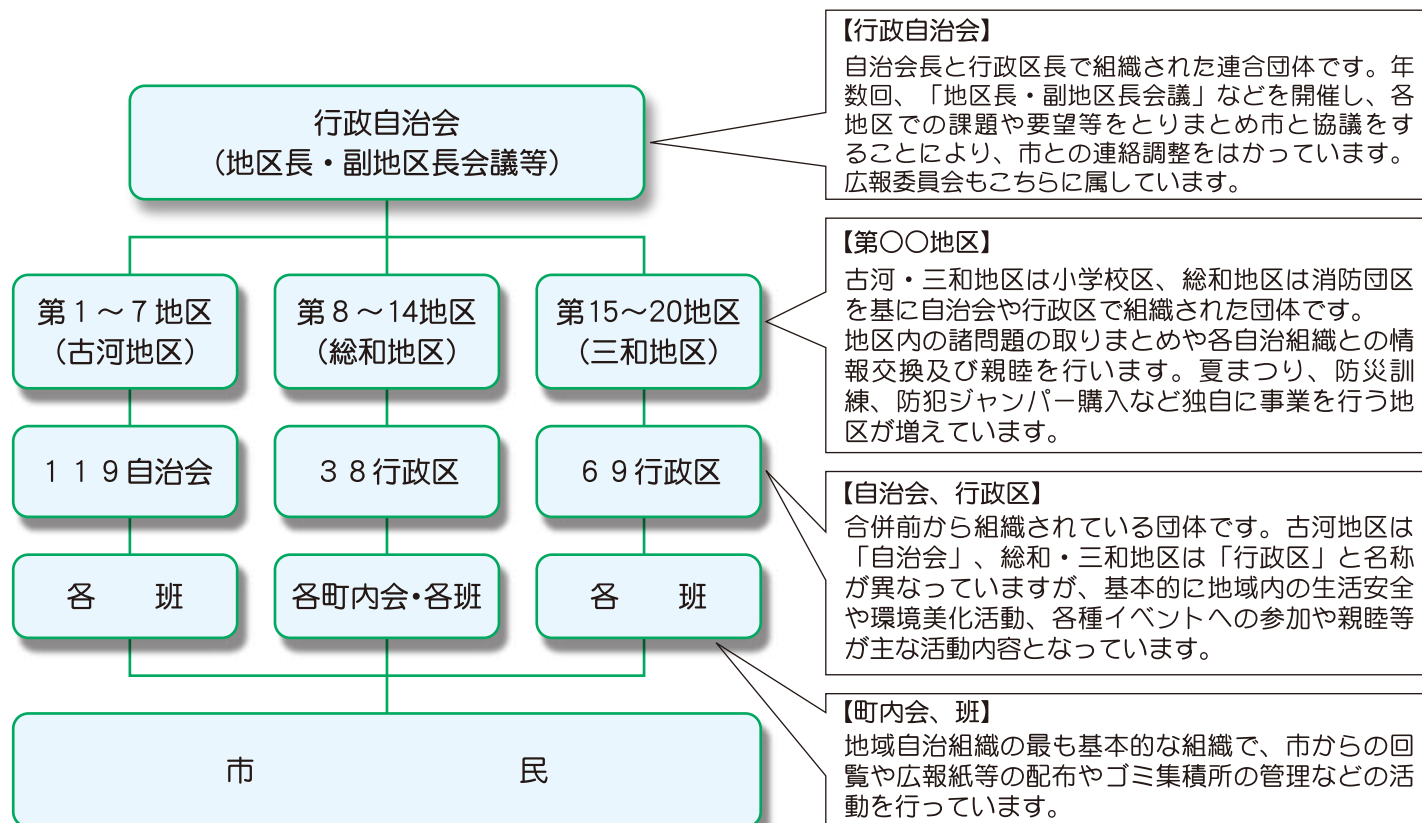
引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、古河市行政自治会のますますのご発展をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

「行政自治会」って何だろう？

「自治会」や「行政区」は知っているけど「行政自治会」や「地区」って何だろう、そんな疑問に答えます

「行政自治会」及び市内を20の地区に区分した「地区」は1市2町の合併後、平成20年4月に自治組織の再編により誕生しました。その後も古河地区では自治会連合会、総和・三和地区では区長会が残っていましたが、平成23年3月31日にそれらが解散し、本格的に全市統一の組織運営が行われることになりました。

改めて、「行政自治会」や「地区」について確認してはいかがでしょうか。



第1回古河市行政自治会地区長・副地区長会議報告



活発な意見交換が行われました

平成23年度第1回古河市行政自治会地区長・副地区長会議が5月11日総和庁舎で開催されました。

新古河市として合併後、それまで各地区にあった自治行政組織が解散され、名実共に一本化されて初めての地区長・副地区長会議となりました。

まず、行政自治会の平成22年度事業・決算が報告され、続いて議事に入りました。

議案第1号では平成23年度事業計画、第2号では平成23年度予算案、第3号では役員の選出がそれぞれ議決されました。事業計画の主な内容は、今回の会議を含め年6回の地区長・副地区長会議の開催、自治会長・行政区長視察研修、「行政自治会だより」の年3回の発行です。

議案第4号では昨年度まで各地区で実施されていた事業等の懸案事項について、今年度の地区長・副地区長会議において方向性を出すことが議決されました。主な内容は、隣接市町村視察研修、環境衛生担当者会議、環境衛生担当者視察研修、市議会傍聴、市民総ぐるみ清掃、関東東・マンナカ祭り「マイステージコーナー」、区長の報酬等についてです。

議案第5号の平成23年度自治会長・行政区長視察研修については、審議の結果、事務局一任とし9月または10月下旬、講演会もしくは見学会の方向で実施を検討することになりました。

自治組織が一本化し、正副地区長が同じテーブルで2カ月に一度顔を合わせ協議することにより、更に融和が図られ、住民自治の体制が充実することが期待されます。

(広報委員 第6地区副地区長 大高 滋)

東日本大震災義援金へのご協力ありがとうございました

～ 2,600万円を超える義援金集まる! ～



皆様のあたたかいお気持ちに感謝いたします
(左より、白戸市長、松本会長、五月女副会長、天笠副会長)

3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に甚大な被害が発生しました。古河市内でも屋根瓦の崩落や塀の倒壊など、多くの被害が発生しました。

行政自治会では、より大きな被害を受けた被災地に対し、少しでも手助けになればと各自治会・行政区を通じ義援金を募集しました。急遽お願いしたところですが、多くの皆様のご協力により、26,313,742円もの義援金が集まり、4月28日に古河市を通じ、日本赤十字社茨城県支部に送金いたしました。

ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げ、ご報告いたします。

自治組織一覧 (226団体)

平成23年4月1日現在

名称	組織数	地区長	副地区長	自治会(古河地区)・行政区(総和・三和地区)の名称
第1地区	36	岩持 文彦 (仲之町)	白石 和宏 (横山町)	石町、紺屋町、二丁目、横山町、三丁目、一丁目牡丹会、四丁目、東杉並町、西杉並町、東代官町、西代官町、四丁町、田町、天神町、厩町、白壁町、仲之町、東片町、西片町、観音寺、台町、小砂町、桜町、三神町、長谷町、南長谷、江戸町、大工町、東鷹匠町、西鷹匠町、牧野町、弥生、西の台、長谷本町、グリーンパーク第一、東長谷
第2地区	18	橋野 靖 (八幡町)	綿引 正衛 (原)	鍛冶町、北新町、八幡町、七軒町、南新町、昭和町、末広町、雷電一丁目、東原、原、元原、新原、旭ヶ丘、南下山町、ヴェルシティ古河、アプリKOGA、友愛コーポ、アイディーコート古河
第3地区	5	並木 彦一 (下三)	大里 八郎 (旭)	旭、下山一丁目、下山二丁目、下三、住吉町
第4地区	22	松本 守雄 (上町)	坂巻 富士夫 (青葉台)	上町、茶屋町、中田町、中田新田一丁目、中田新田二丁目、中田新田三丁目、中田新田東、大山一丁目、大山二丁目、大山三丁目、大山四丁目、中田一丁目、さつきが丘、茶屋西町、青葉台、神明町、さくらが丘、希望ヶ丘、親和、中田新町、新大山、大山サンハイツ
第5地区	7	伊藤 利彦 (松原町)	針谷 征四郎 (裏新町)	中横、五丁目、栄、松原町、表新町、裏新町、鳥見町
第6地区	12	渡邊 源次郎 (雷電二丁目)	大高 滋 (桃ヶ里)	雷電二丁目、三杉町、緑町、雷前、平和台、常盤台、静町、桃ヶ里、もみじヶ丘、新平和町、ルネ古河若葉、レヴィールエコステージ古河
第7地区	19	有明 三郎 (赤松町)	渡邊 一雄 (新久田三丁目)	新久田町、新久田三丁目、赤松町、鴻巣一丁目、鴻巣二丁目、駒ヶ崎、坂間町、鳥喰町、ひばりが丘、富士見町、ククヤ台、新久田県営アパート、光陽台、あけぼの台、坂間企業団地、東谷、西赤松、けやき平、グリーンヒル998
第8地区	7	福永 清一 (新割)	黒川 武男 (上大野)	上大野、稲宮、小堤、関戸、新町、新割、リパティヒル135
第9地区	7	舟橋 健夫 (八幡町)	谷田部 克己 (東泉町)	西牛谷、八幡町、東牛谷、今泉、東泉町、みどり野、東牛谷南町
第10地区	4	山中 禮次郎 (中辺見)	蓮田 敏光 (女沼)	上辺見、中辺見、女沼、フレッシュタウン
第11地区	4	井下 貞治 (上辺見南町)	野口 忠市 (大堤)	上辺見南町、下辺見、大堤、みずきの街
第12地区	4	堀江 武男 (駒羽根)	仲山 初男 (駒羽根住宅団地)	釈迦、磯部、駒羽根、駒羽根住宅団地
第13地区	7	五月女 光男 (内水海)	中野 成幸 (北新町)	砂井新田、上砂井、内水海、町水海、前林、高野、北新町
第14地区	5	塚田 利昭 (下大野)	坂本 廣次 (柳橋)	久能、下大野、柳橋、葛生、久能せせらぎ
第15地区	14	那須 和弥 (諸川西部)	中村 健 (諸川東松原)	諸川下町、諸川新町、諸川大日前、諸川仲町、諸川上町一、諸川上町、諸川中央町、諸川東松原、諸川西松原、諸川西部、諸川台、五部、東諸川、新東諸川
第16地区	5	間瀬 佳嗣 (上片田宮前)	関 義夫 (駒込)	上根、上和田、駒込、上片田、上片田宮前
第17地区	4	山中 輝夫 (下片田)	田中 修 (大和田上)	下片田、大和田上、大和田下、新和田
第18地区	12	天笠 順弘 (宿)	東園 正行 (仁連江口第二)	仁連御辺、仁連下町、仁連上町一、仁連上町二、仁連上町三、仁連上町四、仁連上町五、仁連江口、仁連江口第二、宿、北山田、八俣新町
第19地区	19	畠山 丈美 (沼影第二)	湯本 豊 (小立野第二)	南、中里、新々田、大綱、米倉、清水、赤松、沼影、沼影第二、福原、小立野、小立野第二、笹原、谷貝北、谷貝中、谷貝南、山田、かし山、長左工門新田
第20地区	15	小菅 一男 (下尾崎二)	幸田 操 (間中橋)	恩名下坪、古屋・松山、丸山、新立、下尾崎一、本田山、下尾崎二、瀬戸屋敷、並木、前新田、下内、加下間、江口、間中橋、間中橋南

第2回行政自治会親善ソフトボール大会開催される



開会式の様子（6月5日 上大野グラウンド）

「被災地の一日も早い復興を願い、選手一同支援の気持ちを込めたプレーをします」と一番くじを引いた駒羽根行政区、笹原良太選手の力強い宣誓で各球場において熱戦が展開されました。行政自治会の応援も過熱さげみ。女沼行政区野口監督（チャレンジ女子部門）の「楽しめます！」のことばどおり、大きな事故・怪我もなく親睦と交流を深めました。

（広報委員 荻谷武士）

第2回行政自治会親善ソフトボール大会結果（各ブロックの優秀賞）

チャレンジ部門 （男子） 参加40チーム	A 駒羽根、B 女沼、C 上辺見、D 下大野、 E 清水、F 間中橋、G 町水海、H 上大野、 I 関戸、J 上辺見南町
チャレンジ部門 （女子） 参加4チーム	女沼
エンジョイ部門 （男女混合） 参加46チーム	A もみじヶ丘、B 鳥喰町、C 観音寺、D 松原町、 E 坂間町、F 下三、G 赤松町、H 栄、 I けやき平、J 旭、K 下山一丁目、L 茶屋町

行政自治会関係 行事予定表

日程が確定しているもの

7月	31日（日）	地域防災訓練 （三和中学校区） 市・行政自治会共催
8月	28日（日）	第2回行政自治会親善 バレーボール大会
10月	8日（土） ～9日（日）	関東ド・マンナカ祭り マイステージコーナー （総和地区のみ）
11月	20日（日）	市民総ぐるみ清掃 ※自治会・行政区に よっては、別日程で 行うことがあります

※行政自治会事業として、9月下旬または10月下旬に自治会長・行政区長視察研修を予定しております。



**行事には進んで
参加しましょう**

はじめまして

～ 広報委員会です ～

昨年の地区長会議において、自治組織の取り組みを広く紹介する広報紙の作成が決定されました。それを受けて第1回の広報委員会が開催されたのが、昨年の8月10日。会議を重ねて、今回の「行政自治会だより」創刊号発行となりました。

皆様に愛される広報紙を目指して、紙面の充実に取り組んでまいりますので、ご愛読ください。また、こんなことを特集・記事にして欲しいなど、ご意見、ご要望がありましたら遠慮なく広報委員または事務局までお寄せください。



広報委員会

後列左より 山室敏夫、青木英雄、幸田操、坂巻富士夫、那須和弥
前列左より 大高滋、荻谷武士、伊藤利彦、岩持彦彦、菅原和美
よろしく願います

※次号は11月15日発行予定です

編集後記

古河地区の自治会連合会、総和・三和地区の区長会が平成23年3月31日で解散、4月1日から新しい行政自治会がスタートしました。

行政自治会の大きな事業の一つとして、「行政自治会だより」が年3回（7月、11月、2月）発行されることとなります。

3地区から各3名と役員から1名の広報委員が選出され創刊号の発行となりました。

記念すべき創刊号の「題字」は白戸市長にお願いし、創刊号に華を添えていただき心より感謝申し上げます。

明るく住みよい行政自治会をめざし、「行政自治会だより」が、行政と市民の両輪となる様、相互の連絡協調と円滑な運営のため、情報提供に委員、事務局共々努力する所存ですので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

（広報委員長 伊藤利彦）